

2026年度 目標発表会

看護部



©磐田市



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 目標発表会【看護部】 目次

NO.	発表部署	ページ
1	副看護部長(総務)	2
2	副看護部長(業務)	4
3	副看護部長(教育)	6
4	外来	8
5	3階西病棟	10
6	4階東病棟	12
7	4階西病棟	14
8	5階東病棟	16
9	5階西病棟	18
10	6階東病棟	20
11	6階西病棟	22
12	7階東病棟	24
13	7階西病棟	26

NO.	発表部署	ページ
14	周産期病棟	28
15	救命救急病棟	30
16	手術室	32



©磐田市



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新規認定看護師候補者の確保 (がん領域、皮膚排泄ケア(WOC)、 認知症看護)	がん領域7名、 WOC2名、認知 症看護2名	がん領域7名、 WOC1名、認知 症看護2名	各領域1名 以上確保	成果時に 評価
心不全療養指導士育成	心不全療養指 導士2名	心不全療養指 導士2名	新規1名育 成	成果時に 評価

【2026年度】目標発表会 看護部(副看護部長)総務



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を 磨く	内視鏡センターの稼働に向けた設備・体制等 の準備	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場 環境を整備	SSI AI導入により看護業務の効率化を図る	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	診療報酬改定への確実な対応および診療報 酬の確実な算定	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

☆内視鏡センターの稼働に向けた設備・体制等の準備

- ・人員計画に基づいた適切な人員配置
- ・内視鏡センター稼働率をあげるための施策実行
(教育、搬送待ち時間を作らない)
- ・内視鏡センターの環境調整

☆SSI AI導入により看護業務の効率化を図る

- ・SSI AI導入により、看護業務に関わる内容を確認
- ・看護業務効率化に向けて、計画、実行

☆診療報酬改定への確実な対応および診療報酬の確実な算定

- ・診療報酬改定にて看護に関わる内容の算定を洗い出し
- ・確実に算定する(身体拘束率減算など)
- ・専門性の高い看護師の育成のための準備



2026年度の新たな取り組み

『SSI AI導入により看護サマリーAI化にチャレンジ！』

IT化の拡大

看護業務の効率化・標準化を図り、業務の負担軽減を図る

電子カルテ更新に伴い、電子カルテ機能の活用



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

医療DXの更なる推進に主体的に取り組み、
変化を恐れず新たな挑戦を続けていきます。

その一方で、いかなる状況においても患者の尊厳を守り、
安全と医療の質を確実に担保することを責務とし、
実践を通して価値のある医療の提供に貢献していきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新入院患者数	12,966人/年	13,555人/年	13,954人/年	成果時に 評価
病床稼働率	76.2%	80.8%	83.0%	成果時に 評価

【2026年度】目標発表会 看護部(副看護部長)業務



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	人的資源を最大限活用する新たな看護提供体制の構築	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	業務の最適化・効率化を進め身体的・精神的な負担の軽減を目指す	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	適正な病床運営の継続と勤務管理	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

新たな看護提供体制の構築

- 業務の可視化、プロセスの整理
- ITの活用

適正な病床運営の継続と勤務管理

- 看護師・看護補助者の効果的な配置
- 短期滞在手術受け入れ体制の整備



2026年度の新たな取り組み

看護の質の向上と

職員のモチベーションアップを

目指して

新たな看護提供体制の構築



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

看護職が笑顔で生き活きと

働ける職場作りに取り組みます！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
看護師の特定行為実施件数	125件	249件	300件	成果時に評価
看護部ラダープログラム修了率	88%	92%	95%	成果時に評価
他施設合同研修の実施	1件	1件	2件	成果時に評価

【2026年度】目標発表会 看護部(副看護部長)教育

2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	特定行為研修修了看護師が組織横断的に活動できる体制を整備する	成果時に評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	時代の変化に合わせて主体的に学ぶ看護師を育成する	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	医療圏内における人事交流制度を構築する	成果時に評価

2026年度の目標達成に向けた施策

特定行為研修修了看護師が組織横断的に活動できる体制を整備する

- 特定行為の周知と、依頼窓口の設置
- 特定行為研修修了看護師フォローアップ研修の実施

時代の変化に合わせて主体的に学ぶ看護師を育成する

- 看護部ラダープログラム研修内容の改定
- 育児休暇取得中看護師への教育機会の提供

医療圏内における人事交流制度を構築する

- 多施設合同研修の実施
- 人事交流のための体制整備

2026年度の新たな取り組み

育児休暇取得中看護師へ教育機会の提供

- 育児期間中のキャリアの停滞を防ぐ
- 看護師としてのモチベーション向上

他施設との人事交流のための体制整備

- 看護職としての地域の理解を促進
- 医療圏全体の看護の質の向上
- 地域における自施設の役割認識強化



決意表明

看護師ひとりひとりのキャリアを大切にしながら、
自律した看護師を育成することにより、
組織として成長し、地域住民の生活を支えるケア
を提供できる看護部を目指します。



【2026年度】目標発表会 外来



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	①内視鏡センターの早期稼働に向けた設備・体制等の準備 ②地域で自分らしく生活できる取り組み	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	スタッフ一人一人が自分の強みを活かし自信を持って業務に取り組める環境作り	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	外来検査・治療数の増加に向けての取り組み	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
放射線科スタッフ増員	2人/年	4人/年	5人/年以上	成果時に評価
IC同席率(NS・クラーク)	全体50.4% (NS:40.6%)	全体81.3% (NS:29.5%)	全体85%(NS: 30%以上)	成果時に評価
継続看護件数		平均93件/月	平均90件/月 維持	成果時に評価
カンファレンス件数 (看護師カンファレンス・ 退院前カンファレンス等)		平均30件/月	平均30件/月 以上	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

内視鏡センターの早期稼働に向けた設備・体制等の準備

- ①待機看護師のみでなく放射線科に携わるスタッフの増員
- ②一般外来での診察介助に携わるスタッフの増員
- ③他職種との連携

内視鏡WGに参加・情報共有



2026年度の目標達成に向けた施策

地域で自分らしく生活できる取り組み

- ①ラウンドナース・IC同席継続
- ②継続看護継続(未来院患者・開業医看護師との連携)
- ③カンファレンス継続
- ④外来内留学(出来ることを+1)



2026年度の新たな取り組み

内視鏡センターの円滑な稼働に向け外来部門が一体となった包括支援体制を構築する

- ① 検査・治療に伴う介助に入るスタッフを育成する
- ② 外来留学をして自分の強みを+1増やす



決意表明

外来**ONEチーム**で連携を深め、
内視鏡センターの円滑な立ち上げと運営を支える。



2026年度 数値目標

【2026年度】目標発表会 3階西病棟

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新入院患者数(人/月)	88	92	98	成果時に 評価
小児科 新入院患者数(人/月)	65	54	60	成果時に 評価
レスパイト入院受け入れ(人/年)	—	4	10	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	レスパイト入院受け入れの拡大	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	DX活用による業務負担の軽減	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	・小児科・成人 新入院患者数の増加 ・成人患者受け入れの整備	成果時に 評価



2026年度の目標達成に向けた施策

レスパイト入院受け入れ拡大

- * 対象患児の見直し→かかりつけ患児以外の受け入れ
- * 受け入れ体制の改善→データベース聴取時間の短縮など

DX活用

- * 検査・手術説明の動画説明の新規作成/修正

新入院数(小児科・成人)の増加

- * 診療報酬改定に基づいた入院対象患者の見直しと業務改善
- * 紹介患者対応の見直し(医師とともに看護師も参画)→集患につなげる
- * 入院条件のハードルを下げる



2026年度の新たな取り組み

【入院患者数/病床稼働率の上昇にむけて】

* 成人入院患者の対象の見直し

- ・診療報酬改定による短期入院患者の検討
- ・業務改善による受け入れ体制の構築

* レスパイト受け入れ対象患児の見直し



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- * 病院の方針に柔軟に対応しながら、小児看護の質を向上させ、成人領域にも自信を持って看護の提供ができる病棟を目指します！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 4階東病棟



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	リスクマネジメントが実践でき安全な看護が提供できる取り組み	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	知識と技術、アセスメント力と対応力を向上させた専門性の高いジェネラリストの育成	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	身体拘束率の低下、身体拘束解除率の向上にむけた取り組みの強化	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
新入院患者数(人/月)	96	134	143	成果時に評価
インシデント報告Ⅲb(件数)	1	0	0	成果時に評価
認知症ケア加算対象患者の身体拘束率(%)	71	63	55	成果時に評価
身体拘束解除率(%)	23	46	50	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

リスクマネジメントが実践でき安全な看護が提供できる取り組み

- * タイムリーなインシデントの共有や振り返り
- * マニュアルの見直し
- * 他職種カンファレンスの充実

知識と技術、アセスメント力と対応力を向上させた専門性の高いジェネラリストの育成

- * ラダーレベルに沿った対応とOJT
- * 主科の知識技術の向上
- * 他科の知識技術の習得

身体拘束率の低下、身体拘束解除率の向上にむけた取り組みの強化

- * 診療報酬改定に伴う身体拘束に対する理解
- * せん妄リスク患者への対応の強化
- * 必要性や解除に向けたカンファレンス



2026年度の新たな取り組み

●丁寧なケアと危機回避行動がとれるジェネラリストの育成

- ・主科の勉強会はそれぞれ担当制で強めたい分野の勉強を個々(グループ)で行い、勉強会を開催する
- ・先輩看護師の経験(出身科)が見える化し、入院の多い科を4科しぼり先輩看護師によるレクチャーの開催

●カンファレンス内容の充実

- ・各リンクナース中心としたカンファレンス内容の見直しと内容の質の向上
- ・NSのみであったカンファレンスを多職種で開催(拘束・転倒・倫理など)
- ・コスト漏れ・加算対象のケアの拾い上げとスタッフへの周知



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

スタッフの知識やアセスメント力をあげ、
患者さんの安全も尊厳も大切に、よりよい
ケアを検討実践できる風土をつくります！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 4階西病棟



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	病棟の看護の質向上・カンファレンスの充実 (身体拘束率・褥瘡発生率の減少)	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	業務改善の継続 (業務見直し、指導動画作成・運用、標準化) リエゾンマネージャーの育成	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	コスト漏れ防止の徹底 病棟の備品に対する使用意識の向上(破損防止)	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
新入院患者数(人/月)	77	86	92	成果時に評価
褥瘡発生率(%)	1.29%	2.04%	1.5%	成果時に評価
身体拘束実施率(%) (認知症ケア加算Ⅲ取得患者)	58%	74%	60%	成果時に評価
身体拘束解除率(%) (認知症ケア加算Ⅲ取得患者)	60%	47%	55%	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

身体拘束減少・褥瘡発生率減少

- ・身体拘束率・褥瘡発生率の見える化
- ・カンファレンス内容・方法を検討し充実をはかる

業務改善・時間外減少

- ・業務の洗い出し、問題点の抽出
- ・各時間帯の勤務スケジュールの見直し

コスト漏れ防止・備品破損防止

- ・勉強会の実施
- ・コスト漏れ、備品破損数の見える化



2026年度の新たな取り組み

★乳腺外科手術患者の退院指導動画の作成と運用

- ・統一した指導の実施
- ・動画使用による、業務のスリム化

★骨粗鬆症リエゾン外来

- ・二次性骨折予防管理料3の
取得にむけた体制づくりの検討
- ・リエゾンマネージャー育成



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

患者の声に **耳** を傾け

心 で応える看護を！！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 5階東病棟

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新入院患者数(人/月)	102	107	114	成果時に 評価
時間外労働の減少(時間/月)	374	406	385	成果時に 評価
認知症ケア加算対象者の身体 解除率(%)	37	24	45	成果時に 評価



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる 医療を磨く	・透析患者への患者・家族指導 ・透析予防外来枠の増設	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く 職場環境を整備	・活発な意見交換が出来る病棟風土の継続 ・スタッフによる勉強会の開催	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	・時間外の減少 ・身体拘束解除率の向上	成果時に 評価

2026年度の目標達成に向けた施策

透析患者への指導

2025年度、透析時の患者急変件数 3件
再入院パンフレットの作成・入院後、病棟での再指導の実施
透析予防外来増枠に伴う指導看護師の調整

働きやすい職場作り

主科医師との積極的な関係作り→担当スタッフの配置によるスムーズな関わり
カンファレンスの活発的な意見交換
指摘しあえる関係づくり
有り難うメッセージ(スタッフ・新人・学生・医師)を取り入れモチベーションUPはかる

勉強会の開催

身体拘束カンファレンスの有効な話し合い
スタッフによる他科(消化器内科・呼吸器内科)疾患の勉強会
急変勉強会 医師による勉強会

の開催



2026年度の新たな取り組み

患者への指導

- ・透析患者再入院時、教育用パンフレットの作成
(医師と再指導入院パスの作成)
- ・透析予防外来増設によるスタッフ勤務調整・指導者勉強会の開催

日勤残務の表示

- ・残務の見える化:ホワイトボードの活用
時間外減少に向けたチームでの協力をはかる
- ・(再)リーダーによる時間外となる仕事内容の把握と自己での時間外申告の徹底
「早く帰ろう キャンペーン」開催月を決めて取り組む

↓
早く帰宅し、子供や家族との関わり時間の確保・趣味への時間確保



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

Change your Approach

5東 意識改革します

- ・個々のスタッフが責任をもって仕事を行ない
風通しのよい職場風土を継続します。
- ・1人もスタッフが離職することなく
働きやすい病棟を目指します。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 5階西病棟

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新入院患者数(人/月)	111	118	126	成果時に 評価
身体拘束率(%)	65%		64%	成果時に 評価
在宅療養指導(心不全)件数	21件	21件	23件	成果時に 評価
平均在院日数(日)	7.2日	7.6日	7.0日	成果時に 評価



2026年度 重点目標

2026年度の目標達成に向けた施策

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	療養環境の調整と接遇の向上	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	業務の標準化とDX活用による業務負担の軽減	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	身体拘束最小化による認知症加算減算の減少	成果時に 評価

排泄ケアと環境整備の標準化

身体拘束最小化の
アセスメント強化

身体拘束最小化による認知症加算減算の減少に繋げたい

検査説明の動画化

認知症ケアや転倒
転落アセスメントにおいて「排泄ケア」
は欠かせない重要な
ポイント！



2026年度の新たな取り組み

- ・患者状態に合わせた排泄方法の検討
- ・心不全連携 外来との連携強化
- ・検査説明のIT化



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

療養環境を整え、身体拘束の最小化
に向けて質の高いケアを目指します



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 6階東病棟



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	知識・技術・アセスメント力を向上し安全・安楽な看護を提供する	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	看護体制の一部変更による業務負担の軽減	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	キャリア形成のサポート	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	退院支援の早期介入による平均在院日数の短縮	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
新入院患者数(人/月)	77	71	76	成果時に評価
平均在院日数(日)	13.9	15.7	13	成果時に評価
病床稼働率(%)	92.1	97.3	98	成果時に評価
身体拘束解除率(%)	27	29	37	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

- ◆知識・技術・アセスメント力を向上し安全安楽な看護を提供する
 - ・ 思考発話を活用したOJTを推進し、理解促進と技術向上に繋げる
 - ・ 学習会の機会を拡充する
- ◆看護体制変更による業務負担の軽減
 - ・ 「ベッドサイド拠点」を意識した体制への移行
 - ・ 業務の効率化およびタスクシフトを推進する
- ◆スタッフのキャリア形成のサポート
 - ・ 1on1ミーティングの継続
- ◆退院支援の早期介入による平均在院日数の短縮
 - ・ 入院時よりACPを含めた意思確認を行い、患者の意向に沿った早期支援の介入により、早期退院を目指す



2026年度の新たな取り組み

◆在宅酸素導入目的および導入中の患者支援の強化

- ・患者の意見を反映したパンフレットの提供とDX化

◆「ベッドサイド拠点」を意識した看護体制への移行

◆ボンベ搬送業務のタスクシフト



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

入院時よりACPを含めた意思確認を行い

患者の意向に沿った早期支援の介入と

早期退院を目指します！

(在院日数の短縮に繋げる)

業務負担軽減の推進によりスタッフが生き生き

と輝く職場をつくれます！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 6階西病棟



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	外来化学療法室 休日稼働の導入	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	クリニカルパスの見直しによる業務負担の軽減をはかる	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	病床稼働率をあげ、適正なベッドコントロールによる増収につなげる	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度(4月~翌2月)	2026年度目標	達成度
新入院患者数(人/月)	71	96	103	成果時に評価
平均在院日数(件)	11.1日	8.1日	7.5日	成果時に評価
病床稼働率(%)	66.9%	68.7%	69.7%	成果時に評価
外来化学療法室実施件数	6374	(4月~翌3月) 6326	6350	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

- 外来化学療法室休日稼働の導入
 - ・次のスライドを参照
- クリニカルパスの見直しによる業務負担の軽減をはかる
 - ・白内障手術パスの見直し
 - ・血液内科パスの見直しと新規作成の検討
- 病床稼働率をあげ、適正なベッドコントロールで増収につなげる
 - ・クリーンルームの加算対象となる患者さんの入室を見逃さない
 - ・患者さんの意向を汲んだ退院調整と早期介入、治療方針に沿った対応



2026年度の新たな取り組み

○外来化学療法室 休日稼働の導入

- ・休日稼働日の予約調整
- ・人員体制の検討（他職種、院外薬局との連携等）
- ・休日稼働導入に対する職員の理解と協力、休日の確保
- ・化学療法前の診察、検査、会計等の運用
- ・利用される患者さんへの説明
- ・アレルギー対応の確保 等



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

中東遠で唯一の

血液内科の治療が行える急性期病院として、
患者サービスの向上と経営への参画の両立を目指します



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 7階東病棟



2026年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	安全で質の高い看護の提供 カンファレンスを充実させ、継続した関わりをしていく	成果時に評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	看護業務の効率化させた業務改善 医療DXの導入と推進	成果時に評価
3. 経営基盤の回復	個々のコスト意識の向上 加算漏れの防止	成果時に評価



2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度目標	達成度
新入院患者数(人/月)	126	125	133	成果時に評価
認知症加算対象者の身体拘束割合(%)	73	68	65	成果時に評価
認知症加算対象の身体拘束解除割合(%)	39	24	45	成果時に評価
時間外平均(時間外/月の合計)	553	386	300	成果時に評価



2026年度の目標達成に向けた施策

看護の質の向上・カンファレンスの充実

身体拘束最小化にむけたカンファレンスの質の向上
転倒・身体拘束低減にむけた病棟ラウンドの実施
タイムリーな倫理カンファレンスの実施

医療DX・AIの活用

手術オリエンテーション指導用動画の作成

経営基盤の回復・ウェルビーイングの推進

コストもれ・加算もれの防止・物品定数の見直し・物品故障の減少
業務改善により時間外削減・節電・裏紙使用
スタッフの承認する場の検討



2026年度の新たな取り組み

・カンファレンスの活発化促進

倫理もやっとなカンファレンス・褥瘡・転倒転落

・患者指導動画の作成

手術前オリエンテーション

・病棟内パトロール

環境面・褥瘡・転倒予防



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

ささえる

- ①患者との対話を通して、患者の「こうありたい」を支える
- ②安心安全できる環境を整え、尊厳を守りながら、「その人らしさ」を支える
- ③患者との関わりやスタッフの考えを共有して、承認し合い個々の成長を支える



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 7階西病棟

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新入院患者数(人/月)	122	131.5	135	成果時に 評価
病床稼働率(%)	88.5	99.06	100	成果時に 評価
転倒転落レベル3a・3b(数/年)	6	6	3	成果時に 評価



2026年度 重点目標

2026年度の目標達成に向けた施策

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	検査、治療目的の患者の在院日数 平均在院日数9.03(院内9.8)を維持する	成果時に 評価
1. 地域から求められる医療を磨く	転倒転落影響度レベル 転倒転落影響度レベルの3が減る	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	業務の標準化とDX活用による業務負担の軽減	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	土日祝も含めた病床稼働率の確保と適正なベッド コントロール	成果時に 評価

- ・在院日数(DPC II 期ピタリ症例の確実退院)
- ・入院時間(午後入院の患者数の調整)、退院時間の調整により
1ベッドの利用率の上昇
- ・転倒転落防止のためのコロバンの活用とワンダーマットの適切な
使用
- ・DXを活用し、検査前処置の説明動画を作成



2026年度の新たな取り組み

- ・内視鏡センターの設立にあたり、安心安全な業務の遂行ができるように計画する(搬送、異常発生時の連絡方法、導線など)

運用方法の決定

- ・検査前処置の説明動画を作成し、業務の効率化を図る



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

- ・消化器内科の検査、処置、治療での入院数の確保と内視鏡的治療、薬剤治療における安全な看護の提供を行います。
- ・内視鏡センターの開設にあたり、外来部門との協力体制により、安心・安全な看護の提供ができるように努力します。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 周産期病棟

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新入院患者数(人/月)	80	78	84	成果時に 評価
NICU新入院患者数(人/月)	17	19	20	成果時に 評価
分娩件数(人/月)	32.5	32.8	33	成果時に 評価
産後ケア利用者数(人/年)	1	4	6	成果時に 評価



2026年度 重点目標

2026年度の目標達成に向けた施策

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	産後ケアの充実による利用者の増加	成果時に 評価
2. 職員が生き活きと輝く職場環境を整備	周産期センター全体での効率的な人員配置による時間外労働時間の減少	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	分娩件数の維持	成果時に 評価

- 産後ケアの充実による利用者の増加
 - ・利用時間の延長
 - ・契約市町の拡大
 - ・安全マニュアルの改訂
 - ・利用を推進する広報活動

- 周産期センター全体での効率的な人員配置による時間外労働時間の減少
 - ・産科スタッフ・NICUスタッフのローテーション
 - ・業務分担の協力

- 分娩件数の維持
 - ・HP・病院誌・インスタグラムを使用した広報活動
 - ・診療報酬改定による分娩費用の高騰を抑える取り組み
 - ・両親学級の開催回数の増加



2026年度の新たな取り組み

1. 産後ケアの時間延長・助成対象市町の拡大を広報する
2. 産科スタッフ・NICUスタッフのローテーションを行う
3. 両親学級の開催回数を増やす



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

妊娠中の指導や産後ケアを充実させるだけでなく、産科スタッフとNICUスタッフが協力することで安全・安心なケアを提供し、分娩件数を維持し地域の周産期センターとしての役割を果たします。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 救命救急病棟

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
新入院患者数(人/月)	94	89	96	成果時に 評価
ハイケアユニット加算算定数 (件/月)	348	340	370	成果時に 評価
褥瘡推定発生率	1.33	1.71	1.0以下	成果時に 評価



2026年度 重点目標

2026年度の目標達成に向けた施策

項目	目標	達成度
1. 経営基盤の回復	・業務の効率化を図り、収益向上に貢献しよう ハイケアユニット加算算定数を上げる	成果時に 評価
2. 地域から求められる 医療を磨く	・個々の役割を發揮し、安全で質の高い看護を提供 しよう 褥瘡発生率が減少する	成果時に 評価
3. 職員が活き活きと輝く 職場環境を整備	・病棟とER間の支援体制を強化しよう スタッフ全員がER業務に従事することができる	成果時に 評価

「施策」とは計画・対策
「取り組み」は実施・活動

- ハイケアユニット算定数を上げる
 - ハイケアユニット加算算定条件の周知、確実な算定
 - 【取り組み】→ERからの入院患者の選定基準を明確化する
ハイケアユニット入院医療管理料1の算定状況の表示
- 褥瘡推定発生率が減少する
 - データの揭示・分析をし、スタッフの意識向上につなげる
 - カンファレンスを充実させる
 - 【取り組み】→前年度・褥瘡発生率の提示
カンファレンスのあり方について振り返り
- スタッフ全員がER業務に従事することができる
 - ER業務習得へのプログラムの構築
 - 【取り組み】→安心してER業務ができる体制作り



2026年度の新たな取り組み

☆病棟の活動グループに、コストについて1年間
重点的に検討し、経営に対する意識を向上
させるグループを新設する



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

看護の質を上げ、患者に寄り添い、
支援体制を強化し、スタッフに寄り添い、確実に
ハイケアユニット加算を算定し、経営にも寄り添
います！！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【2026年度】目標発表会 手術室

2026年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度	2026年度 目標	達成度
手術件数(件)	5266	5223	5350	成果時に 評価
術前準備外来(件)	-	-	100	成果時に 評価
診療材料在庫金額(万円)	7200	6300	5800	成果時に 評価



2026年度 重点目標

2026年度の目標達成に向けた施策

項目	目標	達成度
1. 地域から求められる医療を磨く	増加する手術件数・緊急手術への柔軟な対応 安全な手術の提供	成果時に 評価
2. 職員が活き活きと輝く職場環境を整備	時間外業務の削減(多様な勤務形態の活用) 手術室改装工事による職場環境の改善	成果時に 評価
3. 経営基盤の回復	診療材料の在庫金額の削減	成果時に 評価

〔効率的な運用〕

場所: 10室+ α の活用

時間: 手術の受け入れ時間(日時)の調整

業務: 手術室スタッフ・委託業者の業務内容見直し

診材: SPD・手術室の二重在庫管理品の定数見直し

※2026年度は、5月から9月に手術室改装工事を実施するため、工事の影響を最小限に抑え、手術件数を維持できるよう、施設課・工事業者と工事区域・日程の調整を行う。



2026年度の新たな取り組み

①術前準備外来開始

- ・術後合併症ハイリスク群への看護師介入

②多様な勤務形態の活用

- ・休日の手術室稼働への貢献
- ・時間外業務の削減



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

効率的な運用や

新たな取り組みで

WIN-WINな

手術室運営を目指します



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital